



身体の抵抗力が落ちたときに目をこすったりすると、ものもらいができることがあります。地域によつては「めばちこ」「めいぼ」とも言われ、医学的には数種類に分類されます。

中でもよく見られる「麦粒種」はまつげの生え際にあるマイボーム腺に雑菌が感染して腫れてしまう「内麦粒腫」と、マイボーム腺以外の分泌腺に雑菌が感染する「外

麦粒種」に分けられます。いずれもまぶたが赤く腫れあがって、まばたきをした時に痛みを伴い、多くの場合は抗生物質で治します。痛みや腫れを和らげるために針で患部を刺してうみを抜く場合もあります。

# い ら も の も

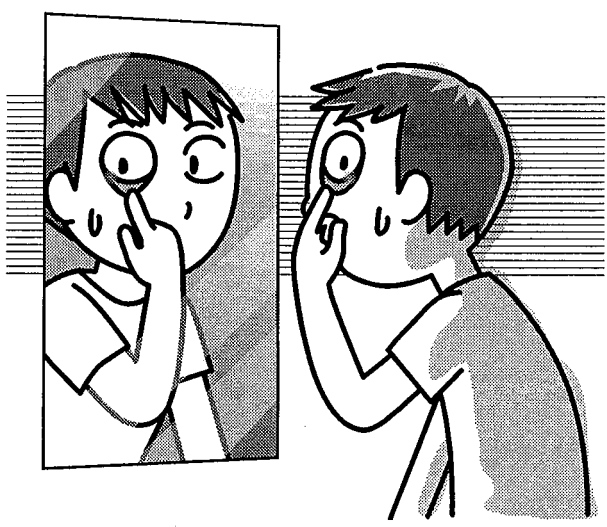
マイボーム腺に脂肪が詰まることにより、しこりができたり、腫れたりするのが「霰粒種」です。腫れてしこりができただけなら痛くありませんが、細菌が感染すると、痛みや腫れが引いてもしこりが残っている場合は、ステロイドという強い治療は病状によつて異なりますが、軽い場合は目薬だけで様子を見ます。腫れがひどい場合や、ひどく腫れる危険がある場合は抗生物質や消炎剤の内服薬も併せて使います。

けが麦粒腫にそっくりです。脂肪が自然に吸収される場合もありますが、しこりが残ってしまうこともあります。治療は病状によつて異なりますが、軽い場合は目薬だけで様子を見ます。腫れがひどい場合や、ひどく腫れる危険がある場合は抗生物質や消炎剤の内服薬も併せて使います。

## 雑菌に感染して発症

化膿して痛みが出てきます。化膿した状態は見かりします。それでもしこりが小さくならない場合は手術で切開することも

あります。通常はまぶたの裏側を切開しますの  
で、傷口は目立ちません。  
ものもらいが出てしま  
ったら、自然治癒力を



高めるため、しっかりと睡眠をとり、体力を落とさないように規則正しい生活をしましょう。アルコールの飲み過ぎや刺激物の摂取を控え、痛みや腫れを伴っている場合はコンタクトレンズの使用は中止してください。

また、ものもらいは他の人にうつる病気ではありませんが、再発する場合があります。まつげの生え際のアイメイクなどはなるべく避け、清潔になるよう心がけましょう。

(スカイビル眼科医院 長・秦 誠一郎)

〈第4月曜日に掲載〉